

4年連続！！ 今年は何羽巣立つかな？ ～谷戸沢廃棄物広域処分場内でフクロウが営巢中～

東京たま広域資源循環組合（管理者：立川市長清水庄平）が管理する谷戸沢廃棄物広域処分場内（東京都日の出町）で、平成28年から4年連続で「フクロウ」が営巢しましたので、お知らせいたします。

当組合では、処分場内の自然環境が豊かになるよう、動植物及び希少生物の保全・生育に取り組んでいます。その取組の一環として、フクロウ用の大型巣箱を場内の樹林に設置していますが、今年も引き続き、フクロウの営巢を確認することができました。

谷戸沢処分場には、場内に森のほか、池や草原があり、カエルなどのフクロウの餌となる小動物が豊富なため、場内の巣箱に毎年フクロウが営巢していると考えられます。

フクロウなどの猛禽類は、処分場内及びその周辺地域の生態系の豊かさを示す指標となります。これからも、当組合では動植物のモニタリング調査を継続的に行い、豊かな自然環境の創出に努めてまいります。



巣箱で営巢するフクロウの様子
（3月1日）

現在、フクロウは卵を温めています。4月上旬ごろには、ヒナの姿を見ることができると思われます。今後は、フクロウの子育て状況を温かく見守ってまいります。この子育て状況については、4月から、ヒナの巣立ちまで、循環組合のホームページに写真を掲載していきます。（ただし、アライグマなどに襲われ、営巢を放棄する可能性もあります。）

◆ 循環組合ホームページ：<http://www.tama-junkankumiai.com/>



巣箱内でのフクロウの様子



【2つの卵を確認！（赤外線カメラで撮影した夜間の映像。）】



【お父さんにエサをもらおうお母さん】